

3月 新着図書

かくれんぼハウスへようこそ

著者名:ぬまのうまさ
出版者:ほるぷ出版



あたらしいおうちにひっこしてきたねこくん。おや?それぞれのへやにどうぶつたちがかくれているようですよ。

東京あたふた族

著者名:益田ミリ
出版者:ミシマ社



あたふた族は、せわしない。なにを隠そうわたしもその一員である。デビュー直前までを描いた「上京物語」、コロナ前と後の日常(朝日新聞連載「オトナになった女子たちへ」)、「終電後」のび太と遊んだ空き地」など味わい深い随筆作品…3部構成で贈る長編小説のようなエッセイ集。

此の世の果ての殺人

著者名:荒木あかね
出版者:講談社

小惑星「テロス」が日本に衝突することが発表され、世界は大混乱に陥った。そんなパニックをよそに、小春は淡々とひとり太宰府で自動車の教習を受け続けている。小さな夢を叶えるために。年末、ある教習車のトランクを開けると、滅多刺しにされた女性の死体を発見する。教官で元刑事のイサガワとともに、地球最後の謎解きを始め—。

罪の境界

著者名:薬丸岳
出版者:幻冬舎

「約束は守った…伝えてほしい…」それが、無差別通り魔事件の被害者となった飯山晃弘の最期の言葉だった。自らも重傷を負った明香里だったが、彼女を助け、身代わりとなって死んでしまった飯山の言葉を伝えるために、彼の人生を辿り始める。この言葉は誰に向けたものだったのか、約束とは何なのか。

名探偵のままでいて

著者名:小西マサテル
出版者:宝島社

第21回『このミステリーがすごい!』大賞受賞作「認知症の老人」が「名探偵」たりうるのか? 孫娘の持ち込む様々な「謎」に挑む老人。日々の出来事の果てにある真相とは—? 認知症の祖父が安楽椅子探偵となり、不可能犯罪に対する名推理を披露する連作ミステリー!

薬は毒ほど効かぬ 薬剤師・毒島花織の名推理

著者名:塔山郁
出版者:宝島社

最強の薬剤師・毒島さんが今回挑む事件のカギは大麻!? 毒島さんに最大の危機が迫る! 累計15万部突破! 大人気お薬ミステリーシリーズ最新刊。薬剤師の毒島さんは、その豊富な知識を活かし、薬にまつわる様々な事件を解決してきた。山荘で渡された怪しげな種子の正体とは? ハイテンションな女性が家出した本当の理由は? 毒島さんはいつものように鮮やかに謎を解き明かし、同僚の刑部さんとホテルマンの爽太を驚かせる。

息が詰まるようなこの場所で

著者名:外山薫
出版者:KADOKAWA

タワマン文学の先駆者、窓際三等兵の作品を元にした初の書下ろし長編小説! タワマンには3種類の人間が住んでいる。資産家とサラリーマン、そして地権者だ—。幸せとはなんなのだろう。逃げ場所などない東京砂漠を生きる人々の焦燥と葛藤!

タンゲル

著者名:真山仁
出版者:小学館

東都大学工学部の早乙女賢一教授は画期的な光量子コンピュータ開発において、世界最先端の位置にいた。スーパーコンピュータ開発に固執し、研究費を削る日本を見限って、シンガポールと共同開発プロジェクトを現地に立ち上げる。その計画「オペレーション・夜明け」を牽引するのは、かつて凄腕商社マンとしてアジアで活躍するも、挫折を味わった望月嘉彦。

一睡の夢 家康と淀殿

著者名:伊東潤
出版者:幻冬舎

時は「大坂の陣」の数年前—。いまだ磐石でない徳川幕府を案じる老齢の家康は、二代将軍である息子・秀忠を揺るぎない天下人にするための体制づくりを急いでいた。一方、豊臣家の威信凋落を肌身で感じる淀殿は、愛息・秀頼の復権に向けた効果的な打開策を見つけれず、焦燥感を募らせていた。

無人島のふたり 120日以上生きなくちゃ日記

著者名:山本文緒
出版者:新潮社

ある日突然がんと診断され、夫とふたり、無人島に流されてしまったかのような日々が始まった。お別れの言葉は、言っても言っても言い足りない—。余命宣告を受け、それでも書くことを手放さなかった作家が、最期まで綴った日記。

3月 新着図書

はなくそだいすき たくまくん

著者名: いえてい
出版者: 文芸社

何でもためしたくなるたくまくん。さて、いったいなにをしたんだろう？結果はいかに？大学教授も推薦する新しい時代を象徴するイノベーション物語。

きょうりゅうのパンやさん

著者名: やまだれいな
出版者: 幻冬舎メディアコンサルティング

パン屋にくるお客さんは、ツノが3本もあつたり、かたーいこうらを持っていたり、背中がトゲトゲだったり。みんな、自分だけのすてきなお気に入りがある。親子で楽しめる、自分の“好き”を見つける絵本。幻冬舎グループ主催第2回絵本コンテスト大賞受賞作品。

親不孝介護 距離を取るからうまくいく

著者名: 山中浩之 川内潤
出版者: 日経BP



「親の介護」と聞いただけで、目をそらしたくなったあなた。この本は介護から逃げて逃げて逃げまくりたいあなたのための「怖くない・無理しない・できることしかやらない」ことを全面的に肯定する、初めての介護本です。

よくがんばりました。

著者名: 喜多川泰
出版者: サンマーク出版

だんじりが駆けめぐる祭りの夜、決して交わることのなかった父と息子におとずれる奇跡。著作累計100万部を突破した小説家・喜多川泰が紡ぐ心の再生物語。

この世の喜びよ

著者名: 井戸川射子
出版者: 講談社

幼い娘たちとよく一緒に過ごしたショッピングセンター。喪服売り場で働く「あなた」は、フードコートの常連の少女と知り合う。かつての子育ての日々を思い出す女性―「この世の喜びよ」。ハウスメーカーの建売住宅にひとり体験宿泊する主婦―「マイホーム」。父子連れのキャンプに叔父と参加した少年―「キャンプ」。

